Minami Kyushu University Syllabus											
シラバス年度	2025年度 開講キャンパス			都城キャンパス			開設学科	子ども		5教育学科	
科目名称	障害児保育	连害児保育					授業形態講義				
科目コード	750036	単位数	2単位	配当学年		3	実務経験教	員	アクティブ ラーニング		
担当教員名	西田 雅美、若宮	邦彦、	山之内 幹、宮	内 孝、石本 隆	±				ICT記 用	0	
授業概要	前半では、障害児保育の定義や歴史的変遷、各障害(知的、肢体、病弱、視覚、聴覚、他)についての原因、症状、基本的な対処法について説明する。 後半では、子どもへ関わる時のコミュニケーション手段、身体へのアプローチ等、実技を通して解説を行う。また子どもたちの創造性を育む玩具の製作も行う。さらに家族支援や他機関との連携についても触れる。										
関連する科目	特別支援教育										
授業の進め方	講義の前半は、授業計画の内容に沿った講義をパワーポイントや視聴覚教材等を活用しながら行う。後半では、演習課題や実技に取り組み講義の内容理解を深める。										
と方法	その他、保育実践や理解度確認のための振り返りテストを行う。										
授業計画	オリエンテーション										
【第1回】	障害児保育の方法と保育形態について										
授業計画	肢体不自由児の理解と援助										
【第2回】	肢体不自由の定義、保育の視点と方法について										
授業計画	視覚障害の理解と援助										
【第3回】	視覚障害の定義、支援における基礎知識や保育、保護者への支援について										
授業計画	聴覚障害の理解と援助										
【第4回】	聴覚障害の種類、聴覚障害による影響、保育の視点と方法について										
授業計画	知的障害の理解と援助										
【第5回】	知的障害の定義、保育・援助の視点と方法について										
授業計画	発達障害の理解と援助①										
【第6回】	自閉スペクトラム症の診断基準、行動特徴、基本的対応について										
授業計画	発達障害の理解と援助②										
【第7回】	ADHD/LDの定義、診断基準における基本症状、援助の視点及び方法について										
授業計画	配慮を必要とする子どもの理解と援助										
【第8回】	愛着形成に課題を抱える子どもの保育の視点と方法について										
授業計画	個別の指導計画・個別の(教育)支援計画										
【第9回】	障害のある子どもを支える計画の種類、意識、違い、内容の記入上の留意点、活用と効果について										
授業計画 【第10回】	障害児保育の記録 障害児保育におい		ニ評価の考え方∜	<sup>5</sup> 活用、記録の方	去につい	τ					

	<u> </u>						
授業計画 【第11回】	基本的生活習慣、集団生活と遊びの援助 基本的生活習慣の意義と援助方法、集団生活の良さと留意点、保育における遊びの援助について						
授業計画 【第12回】	保護者や家族への支援 障害のある子どもの保護者や家族を支援する方法について						
授業計画 【第13回】	小学校や特別支援学校との連携 保育所等から小学校・特別支援学校への就学支援や手続き、情報共有等について						
授業計画 【第14回】	障害児に関する保健・医療・福祉の概要 障害のある子どもの保健・医療・福祉施策について						
授業計画 【第15回】	地域における社会資源の種類と連携方法 障害のある子どもの支援を地域で進めるための社会資源や専門・関係機関との連携における課題について						
授業の到達目標	<ul><li>1. 各障害について基本的な知識を得る。</li><li>2. 実態を把握し、自分なりによりよい関わり方を考えることができる。</li><li>3. 事例を通して望ましい保護者支援の方法についてディスカッションを通して考えを深めることができる。</li><li>4. 子どもの良さを引き出す遊具や玩具を案出することができる。</li></ul>						
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)						
授業時間外学習【予習】	次時の内容について、資料などを読み、用語などを調べる(1時間)。						
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。課題に対して、自分なりに対処しノートやレポート等にまとめる(1時間)。						
課題に対する フィードバック	振り返りテストは実施後、解説する。 定期試験は試験後に解説する。						
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 最終試験 (50点) 2) 学習態度・意欲 (30点) 3) 振り返りテスト・課題等提出 (20点)						
テキスト	『令和5年度 最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 <原本> チャイルド本社 その他、必要に応じて適宜資料を配布する						
参考書	シリーズ:保育と現代社会 『演習・保育と障害のある子ども』第2版 野田敦史編集 株式会社みらい 改訂版『障がい児保育の基礎』 柴崎正行編著 わかば社 『新・障害のある子どもの保育』 第2版 伊藤健次編 株式会社みらい 『みんなにやさしい インクルーシブ保育』 中野圭子・酒井幸子著者 ナツメ社						
備考	製作や保育実践を取り入れる						